

新潟市老人福祉センター 黒埼荘

令和5年度年次報告書

指定管理者 株式会社関越サービス

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症が2類から5類に引き下げられ、通常の日常生活に少しずつ戻り、「老人福祉センター黒埼荘」においても利用者が徐々に戻ってこられているのを日々感じながらの運営となりました。

令和6年1月1日の能登半島地震により、新潟市西区区域も液状化現象により道路や家屋が大きな被害がありました。「老人福祉センター黒埼荘」は、一部の水道管や排水管が破損したため8日間の臨時休業を余儀なくされました。その後、避難所として旧ディサービスセンターや小部屋が利用されました。

全体を通しては令和5年度は大きな事故やトラブルもなく無事運営管理ができました。

- ・令和5年度の利用者は、80,177人昨年度対比で127%と増えております。しかしながら、コロナ過前の令和元年度の入館者数対比については、68.9%とコロナ前まではまだ戻っていないのが現状です。
- ・入館者数が前年越えできた要因の一つとしては、「お風呂大好き選手権」や「秋の湯めぐりスタンプラリー」を通して、弊社が指定管理者として運営している老人福祉センター9施設を各施設利用者が楽しんで他施設を回遊くださった結果と考えております。
- ・地域のコミュニティ作りを意図として企画したピンコ大会(ビンゴ大会)では、年間383人の参加がありました。1回あたりの平均参加人数47.9人と人気イベントとなっております。
- ・緊急時における対応を救命講習の受講や消防訓練を行うことで、不測の事態に全職員が迅速な対応ができるような体制を整えてきました。
- ・施設本体や設備に係る修繕を行い、建物の安全や機械設備の延命化を図りました。
- ・ご利用者の要望等を管理運営に活かすため「アンケート箱」を常時設置し、39件の回収がありました。
- ・外注委託費等の経費削減を図るため、自社で行える業務はできるだけ自社で行いました。

[次年度の取り組み]

- ・令和5年度に大好評をいただきました「秋の湯めぐりスタンプラリー」や「お風呂大好き選手権」を令和6年度も開催することで、さらにたくさんの方にご利用いただければと考えております。
- ・地域のご高齢の方同士のコミュニティ作りを目的として、月1回のピンコ大会は、引き続き開催してまいります。
- ・現場スタッフとのミーティングを増やしコミュニケーションを密にすることで施設内の状況の把握をより確実なものとしします。
それにより、ご利用者の満足度向上を図り、入館者数の増加に努めていきます。
- ・建物や施設設備に関して、巡回・点検・調査を定期的を実施し、早めの修繕やメンテナンスは将来的な問題を予防し、利用者の安全と安心を確保するために欠かせません。早めの修繕で建物全体の延命化を図ってまいります。
- ・館内巡回や衛生面にも目を配り、ご利用者が快適にご利用いただけるよう努めてまいります。